

年頭のご挨拶・昨年行事報告

連載 楽しき街歩き 京の街並み 第4回「角の床屋さん」



撮影者 洛西支部 田中 義人

皆さん、明けましておめでとう御座います。今年は子年、絵馬は可愛らしい二匹の鼠が打出の小槌に向い合っている微笑ましい絵です。

子年は十二支のひとつで通常十二支の中で第一番目に数えられます。なぜ第一番目かは、「漢書」律曆志によると、「子」は「孳」（し：「ふえる」の意味）で新しい生命が種子の中に萌し始める状態を表しているとされているそうです。後に覚え易くする為に動物の鼠が割り当てられたらしいです。又、皆さんもご存知と思いますが、なぜ一番が鼠なのか次のような話が伝わっています。神が十二支の動物を決める際、家の門に来た順番に決める事した。牛が動きが遅いからと真っ先に出かけ、一番に門前に着いたのですが門が開けられた時に牛の頭に乗っていた鼠が牛の前に飛び出したので、鼠が一番になったそうです。猫も十二支に入れてもらおうと準備をしていたのですが、鼠が集合の日をわざと間違えて教えたので十二支に入ることができなかった。その為今でも猫は鼠を追いかけ回すのだとのこと。その他にも色々な話があるそうなので、一度調べてみてはどうですか。



CONTENTS

- 【新年のあいさつ】 03・04・05・06
- 【コラム】 「続・ふだんあまり意識しないこと・・新年は・・」
～夢をみましょう～ 名和 啓雅 07
- 【連載】 「楽しき町歩き 京の町並み」第4回
角の床屋さん 辻 伸子 08
- 【行事報告】 女性部懇親会のご報告
小林 範子・柿沼 瑠美 10
- 青年話創会2019 福島大会 吉田 雄一 11
- 福島大会（第43回建築士事務所全国大会） 11
- 街歩き 飛騨高山一泊旅行 金森 保則 12
- 令和元年度建築士事務所協会キャンペーン
橋本 勇樹 13
- 【支部だより】 城南支部だより 足立 由紀夫 14
- 【レポート】 萬福寺レポート 金森 清正 15
- 【行事報告】 令和元年度忘年会 金森 保則 16
- 【お知らせ】 改正建築物省エネ法説明会及び
住宅省エネ技術講習会 岩村 和男 17
- 【賛助会員だより】 福井コンピュータアーキテクト株式会社 18
- 日学株式会社 大阪支店 19
- 【支部だより】 洛東支部だより 中井 洋一 20
- 桃山支部だより 浅田 拓生 20
- 丹後支部だより 岡田 昌基 21
- 洛北支部だより 松本 隆宏 21
- 【コラム】 20'S ～AKEOME KOTOYORO～
野間 洋平 22
- 【連載企画】 四コマまんが・えだまめ 23
- 【あとがき】 スケッチ・編集後記 24

会員数 (12月1日現在)

支部	洛北	洛中	洛東	洛南	洛西	桃山	城南	山城	乙訓	南丹	北部	丹後	合計
事務所数	58	62	33	37	39	41	18	15	24	16	19	5	367

「年頭のご挨拶」



会長 上野 浩也

「令和」になり初めての新春を迎え、心新たに新年をお祝い申し上げます。

会員の皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。旧年中は当協会に対しまして格別のご指導とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、「令和」がスタートし、新たな大きな希望を持って国内がお祝いモード一色となりました。また、日本でラグビーワールドカップが開催され、日本チームの活躍もありラグビーブームになるとともに「ONE TEAM」という素晴らしい言葉も生まれました。将に「令和」という時代のスタートにふさわしいものとなりました。

一方、昨年も一昨年同様、各地で多くの災害がありました。特に関東や東北地方を襲った台風や大雨で多くの尊い命が奪われたことは忘れることのできない記憶となりました。災害に見舞われた方々の一日も早い復興を心からお祈りするとともに、自然の前では人間は何の力もないことを痛感しました。自然の脅威はいつ襲ってくるかわかりません。しかし、人間の力で防災を行うことは可能です。特に我々の職能を活かした既存建築物の耐震診断、耐震改修、特に木造住宅の耐震診断、耐震改修は今からでも備えることが可能な防災対策であり、その必要性を府民の皆様にご伝えたいと思っております。

当協会の活動についてですが、多くの会員の皆様

が各委員会に積極的に活動されていますし、各委員会では、新しい取り組みにもチャレンジしていただいております。他の単位会が会員の減少で悩まれている中、少しずつではありますが、京都会は正会員、賛助会員が増加しています。これは、会員委員会の皆様をはじめ、会員の皆様が新入会員を迎え入れることに努力していただいている結果です。会員が増えている中ではありますが、協会の財政は厳しい状況が続いています。日事連のアンケートによるとほとんどの単位会が赤字決算に陥っています。京都会でも昨年は幸いにして黒字決算となりましたが、今年度は厳しい状況になってくると思います。今からでも出費を控えながら、新しい事業の開拓を検討していかなければならないと思っておりますし、来年度の予算では固定費の削減も検討しなければならぬと思っております。しかし、暗いことばかり考えていても新しい「令和」の時代を進んでいけません。困難な時期こそ希望を持って「ONE TEAM」として会員一丸で乗り越えられればと思っております。

今年も府民の皆様にご我々の職能を活かした活動を通じて安全・安心なまちづくりのお手伝いをさせていただき、「法定団体」の会員としてふさわしい技術と知識を常に研鑽し、資質の向上に努めてまいり所存でございます。

結びに、会員の皆様の今後益々のご繁栄を心より祈念し、新春のご挨拶とさせていただきます。

「夢や希望を実現できる年に」

京都府知事 西脇 隆俊



新年あけましておめでとうございます。

府民の皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返って

昨年は新天皇が即位され、平成から令和へ、新しい時代が幕を開けました。令和という元号には「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という願いが込められております。日本文化の中心である京都府として、府内の多様な地域文化を世界へ発信していく務めを改めて自覚する契機ともなりました。

振り返りますと、6月のG20大阪サミット、9月のICOM（国際博物館会議）京都大会、そして先のラグビーワールドカップ2019日本大会と、折々に多くの観光客の皆さまにお越しいただき、世界中から日本が、そして京都が目目される一年でありました。

さらに、京都大学ご出身の吉野彰氏がノーベル化学賞を受賞され、2年連続で京都ゆかりの方が栄誉に輝くという大変うれしい出来事もございました。

一方、京都アニメーション第1スタジオの放火によって多くの方々が亡くなるという大変痛ましい事件も起こりました。衷心よりお悔やみを申し上げますとともに、今なお治療を続けておられる方々の一日も早いご回復を祈念申し上げます。京都府といたしましても、引き続き、被害者やご家族の皆さまに寄り添った支援をまいります。

「京都夢実現プラン」始動

われわれが置かれている社会情勢を見渡すと、少子・高齢化と人口減少の本格化に加え、グローバル化の進展によって国際情勢の変化がわれわれの生活にも直接影響を及ぼす状況にあります。また、頻発する自然災害など多くの課題が横たわっています。これらに対応するため、京都府では昨年10月、府政運営の指針となる新しい京都府総合計画「京都夢実現プラン」を策定いたしました。

この総合計画は、「一人ひとりの夢や希望が全ての地域で実現できる京都府」という2040年の将来像をめざし、行政分野や地域ごとの具体的な取組方策等を定めたものです。府民の皆さまや地域、企業などと共に取組を進め、総力を結集し、めざす将来像の実現に向け果敢にチャレンジしてまいります。

京都の潜在力を生かすために

本年は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京2020」）が、そして来年にはワールドマスターズゲームズ2021関西が開催されます。こうした機運の中、府内初となる専用球技場「京都スタジアム」が完成し、迫力のあるスポーツイベントを臨場感いっばいに楽しんでいただけるようになりました。同スタジアムを京都府中北部地域へのゲートウェイとして地域活性化を図るとともに、スポーツを通じて関西一円を元気にしてまいります。

そして、東京2020の開催に合わせ、日本の美を体現する「日本博」が文化庁主導のもと全国で開催されます。この機会に京都府では「京都文化力プロジェクト2016-2020」の総仕上げとなる総合的な文化の祭典を開催するほか、2021年度を目途とする文化庁の本格移転を見据え、文化の保存、継承、創造、発展にも力を注ぎます。

また、伝統産業とその技を生かした新技術、観光・文化産業、ハイテク産業が三位一体となり、さらに大学等が集積した京都の潜在力を大いに発揮することが求められます。京都経済百年の計となる「京都経済センター」を核に、起業から成長支援、海外展開、人材育成まで、イノベーションが起り続ける事業環境の創造を進めてまいります。

共に、新しい時代へ

こうした取り組みの源は人です。就任以来、一貫して進めてきた「子育て環境日本一」の実現に向け、2040年までに全国平均並みの合計特殊出生率を達成するべく「子育て環境日本一推進戦略」を策定しました。この目標の達成は容易なことではありませんが、「水滴石を穿（うが）つ」と申します通り、粘り強く取り組んでまいります。

今年は、十二支の始めである子（ね）年。『漢書』律曆志によると、新しい生命が種子の中に萌（きざ）し始める状態を表しているとされています。この新しい年を、府内全ての地域が活力にあふれ誇りを持てる、新しい時代の京都を築き上げるための第一歩とするため、共に歩んでまいりましょう。

今年一年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

「笑顔あふれる京都を共に！ 京都の強みである市民力・地域力・ 文化力を更にいかして！」



京都市長 門川 大作

あけましておめでとうございます。

皆様の常々の御指導・御支援に心から感謝し、この一年の御多幸をお祈り申し上げます。

市長就任以来、現地現場主義に徹し、お訪ねした1万を超える現場・市民の皆様の御活動の場で、改めて京都の市民力・地域力の素晴らしさに感動、感謝。皆様のお声を市政にいかし、厳しい財政の中でも、いのちと暮らしを守り、福祉、子育て・教育、文化、環境、景観、経済の活性化、防災・安心安全を最優先に、皆様と共に汗する「共汗」で挑戦し続けてまいりました。

お陰様で、例えば、ごみ量はピーク時から半減。国基準の1.3倍の優れた保育士を確保し、保育所等6年連続待機児童ゼロ。小中高の教育を充実。市内の犯罪は5年間で45%減と過去最少。京都経済百年の計「京都経済センター」をオール京都で開設し、中小・地域企業を応援する条例を制定、支援体制を拡充。

民間で実施する方が良い仕事は民間に！行財政改革の断行！市職員を3,300人削減、年間270億円の費用を捻出し、市民の皆様にお約束した政策・公約を実現！（国の交付税の大幅削減、昨年の災害対策、福祉予算増等により財政は厳しい状況）

これらの結果、京都市が、「誰一人取り残さない」社会を目指す国連の「SDGs」先進度や都市力の総

合評価（2年連続）で全国1位に。そして、市内の雇用者数は5年間で5.7万人（うち正規雇用4.2万人）増、市税収入は6年間で246億円増など、未来に明るい兆候！市民の皆様の御尽力の賜物と心から感謝しています。

一方、観光消費額が1.3兆円（京都市民の年間消費支出の52%に相当）を突破した観光面では、「混雑」「宿泊施設の急増」「マナー対策」など新たな課題も。違法民泊は99%を営業中止・撤退させ、さらに市民の安全安心と地域文化の継承を重要視しない宿泊施設は「お断り」するなど、市民生活を最重要視した持続可能な観光へ、皆様と共に50の取組を徹底します。

新たな年を迎え、京都のまちをより安全安心に、より豊かに発展させていくべく全身全霊をかけて取り組む決意を新たに。

京都市京セラ美術館の再オープン、文化庁の京都への全面的移転や京都芸大の移転も見据え、文化・科学、地域力・人間力などあらゆる京都の強みをいかし、新産業の創出や、社会課題の解決を目指した「スタートアップ・エコシステム」構築へ！それらを市民生活の豊かさにつなげ、「世界の文化首都・京都」への飛躍を目指し、市民の皆様と共に全力を尽くしてまいります。

「明けましておめでとうございます。」



理事 稲田 真孝

新年明けましておめでとうございます。令和元年5月に開催されました総会において、外部理事に再任いただき、2期目となりました。理事会では各理事及び各監事の会運営に対する熱意を強く感じております。また、旧年中も日本各地で災害が発生し、その度に建築士を始めとする専門

家の方々が現地調査・復旧等でご活躍されました。その姿に負けぬよう、本年も引き続き、より良い会運営に尽くす所存です。よろしく願い申し上げます。そして、本年が皆様にとりまして、幸せに満ちた年となりますことを祈念いたします。

(福井・稲田総合法律事務所)

「年賀 + KOCI」



理事 西田 高明

あけましておめでとうございます。

会員の皆様方には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本年で、外部理事として就任三期目を迎えることとなりました。

併せて、法令委員会のアドバイザーとして、お役に立てるよう、自己研鑽を積み重ねて参りました。毎回反省する日々ではありますが、出来るだけ日常業務に即した説明を心がけていかなければならないと思っております。

確認検査業務も民間開放されて21年目となります。

当社も昨年9月で無事20周年を迎え、やっと成人式を迎えることとなりました。

ひとえに事務所協会の会員の皆様はじめ、関係各位のあたたかい御厚情の賜物と心より感謝申し上げます。

また、開業以来、現在までの間に、様々な法改正がありました。平成19年規則の大改正では、構造適判が始まり、現在は省エネ適判制度の新設と、指定確認検査機関にも

受け皿としての整備が求められ、大変大きな変革を遂げました。

事務所協会の各事業並びに研修会等を通して、指定確認検査機関のあるべき姿について、色々と指導を受け、設計者と特定行政庁の橋渡しとしての役割の重大さを改めて考えさせられております。

Kind<親切>、Open<明快>、Certain<確実>、Immediate<迅速>を基本理念として、皆様へは、リアルタイムに分かりやすく新情報を提供し、業務の遂行にあたる所存であります。

どうぞ今後とも、設計者様の良きパートナーとして、鋭意努力をして参りますので、末永くよろしくお願い申し上げます。

いつも最先端を進む京都府事務所協会様の更なる躍進の年になりますよう、微力ながら責務を全うしていく所存です。

結びに、会員の皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

(株式会社京都確認検査機構)

「続・ふだんあまり意識しないこと・・・新年は・・・」

～夢をみましょう～

洛中支部 名和 啓雅

令和改元に沸いた一年も過ぎ新しい年を迎え、誰もがまた厳粛な思いを抱かれていますことでしょうか。私はというと、今年はあるをやってみよう、これを実現しようと思いつながら、気が付けばいつも月日が早く過ぎていくように感じます。今年もさして、どんな新しいことがあるでしょう。またどんなことができるでしょうか。辛いこと、悲惨なことが無くない世の中で、希望を胸に明るい気持ちで過ごしたいものです。

今年は2020東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。56年ぶりに日本にやってきますが、前回の1964東京オリンピックは子供心を躍らせて見ました。それまで外国人選手の活躍を見たことがなかった私はテレビにくぎ付けになっていました。

当時中学2年生だったのですが、学校の授業でも日本人選手の出場時間帯のTV放送は見せてくれました。国中がオリンピックに夢中だったといえます。今年の夏が楽しみです。

昨年は11月にローマ教皇が来日し、核兵器を抑止力に考えることの愚かさに気付くべきだと、広く世界にむけて廃絶のメッセージを発しました。科学技術の発展はいつも軍事力に応用されてしまいます。平和利用のはずだった日本の原子力発電も最終的にその処理に手をこまねいている現状です。温暖化で北極の氷が解け出し、海面上昇が危惧される一方、これまで氷に閉ざされていた北極圏の人々には新たな生活利便がもたらされるという矛盾があります。自然と共に生きてきたはずの人間の生活が劇的に変わってしまいそうです。

無邪気に未来図を描いて生きていける時代ではありません。しかしいつの時代も夢をみて、描くことはヒトの自然な本能でもあります。

子供の頃、夜空をボーと仰いでいると人工衛星が動いていくのに感動したことがあります。人工衛星がとんだ日のことを覚えている人はまだ多いと思いますが、1957年にソ連のスプートニク1号が打ち上げられて、もう60年余もたつのです。その後の米ソの国の威信をかけた軍事開発競争が、一方では科学の発達に役立ちました。一步遅れをとったアメリカは1人乗りマーキュリー計画、2人乗りのジェミニ計画、地球を周回する有人衛星から、ついに月へ送り込む3人乗りのアポロ計画へと発展し、今日の宇宙ステーションでの研究へとつながっています。いまは当たり前になってしまったGPS（全地球型位置誘導システム）は軍事技術の転用で、使いようによっては恐ろしいこともあります。第二次大戦中にドイツで開発されたロケット技術が今日の宇宙開発につながっているわけです。

人々の暮らし方が多様化してきた時代の変化にあつて、人間何かをしようと思う時に、遅すぎるといふことは無い、と言われる。しかし「少年老い易く学成り難し」のことわざ通り、時のたつのは早く人生は短いと感じます。日ごろ新たなものを創造する、建築の設計をしている私達ですが、それは、自由に想像することから始まることは言うまでもありません。老いると、寝ている時に夢を見ることが少なくなる？のかも知れませんが、それでも昨年はささやかな楽しみを一つ持つことができました。念願のサントリーホールで素晴らしい演奏を聴くことができたのです。正月のウィーンフィルのニューイヤーコンサートはTVで我慢するとして、年齢を意識せず大いに夢を見ましょう。

誰にとってもいい一年でありますように。

●角の床屋さん●

洛中支部 辻 伸子

あけましておめでとうございます。新年を迎えるにあたり、旧年中に散髪を済まされた方も多いことでしょう。

私が上京区の中立売通沿いに住みだして、はや14年目になりました。住み始めての町の感想は「美容院や理髪店、整骨院の多いところやなあ!」でした。整骨院が多いのは、町全体の高齢化に伴う現象ではないかと思えます。しかし、美容院や床屋さんがこんなに多いのは何故か?と思いつつながら月日が経ち、この連載のネタ探しの目で改めて観察すると……角地に建つ理髪店が、やたらと目に付きます。気になる～～!

江戸時代後期の風俗や事物を記した「類聚近世風俗誌」(喜多川守貞 著)の第三編『人事』によると、京都や大阪では「市民毎坊會所を設け」「京師の會所守は髮結を常の業とす故に宅表を髮結い床とし座敷を會合の席とす」とあります。また「事ある時自地の町人茲に會て事を議す」と書かれています。どうも「町内ごとに會所があつて、京都では會所の番人は髮結いさんで、建物の道路側を髮結い床の店舗とし、奥の座敷を會合の場としていた」、そし

て「何か事があつると、町内の人が集まって話し合つた」ようです。

続けて、江戸の「自身番」は京都や大阪の會所と同意だが、會所は家並みに軒を連ねて設えているが、自身番は四つ角に、道路上に飛び出して造る、と記されています(図1)。

ということは、京都の會所=髮結床も四つ角に造られた可能性があるのでは?

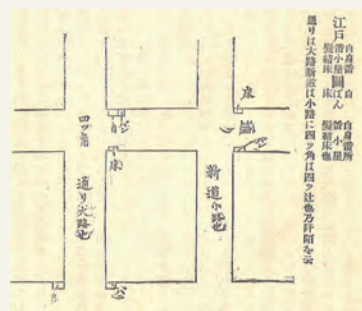


図1

「四つ角」(四つ辻)は人目に付きやすく集まりやすい場所。また、境界・町境になりやすい場所でもあります。

髮結い床は、滑稽本「浮世床」を戯作者・式亭三馬が描いたように、ご近所さんが日頃から気軽に立ち寄り、四方山話に花を咲かせる社交場だったのでしょ。ちなみに髪を結われる状況は、無防備でまかせなリラックスした状態です。自然、本音の話も出やすいように思います。髮結い



一条浄福寺



一条大宮



押小路柳馬場



姉小路神泉苑西入



西洞院綾小路



蛸薬師室町

中に、皆さんの本音を聞いておき、実際に会合が行われた時には皆さんの意見を取りまとめる、というような場として機能したのではないのでしょうか。

「會所」が先か、「髪結い床」の発生が先かわかりませんが、求められた二つの機能が合体した、ということでしょうか。

昭和初期の地図「京都市明細図」に記載されている角地の床屋さんは、『理髪店』または『床』と記され、現在も同業と確認出来る店舗が今も未だ数多くあります。

京都市明細図に記され、もしくは今も未だ多く角地に床屋さんが有る通りとして確認出来るのは、中立売通、蛸薬師通、綾小路通、仏光寺通などです。三条通や四条通、烏丸通や堀川通といった、いわゆる「大通り」ではなく、2本ほど入った辺りに多いようです。

大通りは、身仕舞いを整えて出向く「晴れの場」、日常空間は少し距離を置いたところで、そういう立地に床屋さんがあるように思います。

明治維新以降、ちょんまげを結う需要は減り、散髪が主な仕事となり、『床屋さん』は『理髪店』へ変貌したのでしょう。新しい時代の流れを表現するかのよう、理髪店の建物は、町家の表側をタイル貼り等で洋風に改修したものや、洋館建築に建て替えられたものが多いように思います。更に、もっと最近建て替えられて理髪店を続けておられる店も多々あります。角地のためか、窓が大きく設けられている

のが特徴です。

時代はさかのぼって16世紀の安土桃山時代を描いたとされる洛中洛外図(舟木本)には、五条大橋や、一条戻り橋の袂にある髪結い床が描かれています。

京都に入る人、京都から出て行く人、様々な人が土地や生活、人生の「さかい目」に立ち、身支度を整え、心を新たにする場所に、床屋さんはあったようです。

京都に人が出入りする橋の袂などに立地したものが、京の町組織や通りが発展するにつれ、町境で人の出入りを把握しやすい「四つ角」に床屋さんが増え、町内の人も集まりやすいということで「會所」の機能が付加されたのではないのでしょうか？

現在では、理髪店が会場場所として使われている例は見かけません。しかし、定期的に通う理髪店の店主など言葉を交わすのは、楽しいことでしょう。私はご近所の美容院で髪を切ってもらっていますが、行くと気持ちがさっぱりします。リフレッシュする感じです。家族でもなく、友達でもなく、仕事関係でもない人との会話…そこに風通しの良さが生まれ、髪の毛もさっぱりしてる!一石二鳥です。

AI(人工知能)やSNSの未知の可能性など云々されることが多い現在ですが、それらが、人に髪の毛を切ってもらう、この気持ち良さを体現することが可能か?私は疑問です。町の床屋さん(理髪店・美容院含む)、万歳!



蛸薬師新町



中立売元大宮



中立売黒門



中立売小川



中立売猪熊



油小路綾小路

女性部懇親会のご報告

開催日：令和元年9月28日(土)

青年部・女性部合同委員 小林 範子
柿沼 瑠美

9月28日に青年部・女性部合同委員会主催で初めての女性だけの懇親会を開催致しました。定員15名のところ、なんと!18名の申し込みをうけ、当日16名の方にご参加いただきました!お昼に集合しヴォーリス建築事務所設計のカフェ「ゴスペル」さんでワーキングランチ、その後、駒井家住宅を見学し16時頃に解散。ランチとヴォーリス建築を味わいつつ、初対面の方が多く、仕事や趣味の話に華を咲かせ、気さくで温かい時間を過ごしました。設計

担当者だけでなく総務などで事務所を支えておられる方とも交流できたことを嬉しく思います。そして、この企画を応援してくださった会長、青年部女性部合同委員長はじめ、多くの皆様に心よりお礼申し上げます。

また、このような会が第2回、第3回・・・と開催出来ますように今後とも皆さまのお力添えをいただきます様、どうぞよろしくお願い致します。



「ゴスペル」外観



「ゴスペル」にて女子会スタート!



建物の説明をしていただきました



☆集合写真☆



「駒井家住宅」の庭園にて



「駒井家住宅」での建物解説



「駒井家住宅」各部屋を見学中

青年話創会2019 福島大会

開催日：令和元年10月3日(木)

青年部・女性部合同委員 吉田 雄一

第43回 建築士事務所全国大会 福島大会の前日となる令和元年10月3日(木)に福島市にあるクーラーリアンテナパレス会場にて「青年和創会2019」福島大会が開催され、「未来設計図」～共に築く未来のまちづくり～というテーマで、全国の単位会から派遣された若者会員(京都会からは6人)が集い、役員その他のオブザーバーの見守る中、活発な意見交換が行われた。

話創会の形式は今までと同様、1組10名程の円卓に分かれ、「共に築く未来のまちづくり」をテーマとし、各円卓で話し合われた意見を発表した。

テーマである「共に築くまちづくり」の話し合う内容は多様かと思われたが、東日本大震災の地震と津波災害を経験した東北ブロック、熊本地震等の九州ブロック、台風災害の関東ブロック、日本各地で自然災害が頻発している中であることから、建築の中で防災をどのように進めていくかが話題に多く感じられた。建築士という立場から、災害が起こったときの動き方のスケジュールをマニュアル化したり、行政(消防等)との連携、または事務所協会としての指揮系統の実施等、様々な意見が交換された。



時間は2時間ほどの話し合いではあったが、全国の若手建築士が集い、地域の違いや環境の違いなど、様々な立場での問題意識を共有できたことは非常に有意義な時間となった。

懇親会では、気軽な交流がもたれ、まずはブロック単位で集まりその後は他のブロックとの交流もさらに深められたと思います。地元のお酒と食事を共にし、全国の若手と懇親を深め、今後の活動の広がりが楽しみです。

懇親会のあとは、それぞれの二次会に繰り出し、さらに懇親を深めたことと思われます。

今後の設計事務所の在り方、事務所協会の在り方を含め、将来を担う若手建築士の重要な会合となっていくことを願っています。

福島大会 (第43回建築士事務所全国大会)

開催日：令和元年10月4日(金)

10月4日(金)とうほうみんなの文化センター(福島県文化センター)に於いて第43回 建築士事務所全国大会 福島大会が開催されました。

当日は連日続いた台風も少し横にずれ、雨も本降りにはならないくらいの曇った天気の中、朝早くから京都を出発し、4時間半の新幹線を東京で乗り継ぎ、当日に到着された方は昼頃になりました。東北はやっぱり遠く感じられました。

本大会に先駆けて10月3日に全国から集う若い会員による青年話創会が催され、京都会からは6名が参加し、(私もそのうちの1人ですが…)複数の円卓に分かれ「未来設計図」～共に築く未来のまちづくり～をテーマに、日本中で昨今頻繁におこる自然災害をどのように防災するか、建築士としてどのような対応をするか等、若い建築士こそその意識を高め、協力等を話し合いできたと感じています。

さて、本大会はテーマ「七転び八起き」震災から再生、そして飛躍へと銘打ち、東日本大震災の地震と津波、そして原子力発電所事故の複合被害に見舞われた8年間の復興、創生についてパネル展や座談会が行われ、それに続く大会式典では開催宣言のあと、福島県建築士事務所協会と日事連会長のご挨拶がありました。

単位会の紹介では、ブロックごとの紹介になりましたが、東北、北海道ブロックの多さに圧倒されました。

式典は、様々な表彰式へと続いていき、今回もいろいろな個性があふれている建築物が紹介され、表彰されていました。

福島のPRタイムでは、特産品の紹介がされ、本大会のブースにも特産品が販売されていました。私が目にして驚いたのは、「ふくしまの水」というペットボトルに入った水なのですが、品名・ボトルウォーター 原材料名・水(水道水) 販売者・福島市水道局というものでした。摺上川が水源とも記載されており、軟水であり非常に興味を持ったので飲んでみたのですが、感想は「水」でした…。(私も京都の田舎育ちできれいな水に恵まれているのかと…)調べてみると、なんとモンドセレクションにて3年連続で最高金賞を受賞しているようで、自慢の特産品であることは間違いありません。

式典終了後は、京都会で飯坂温泉へと行かせていただきました。温泉と福島の美味しい食材と地酒を囲み、上野会長はじめ、みなさまと呑みいろいろ勉強させていただきました。

福島大会の開催により、みなさまの親睦もさらに深まったことと思います。



街歩き 飛騨高山一泊旅行

開催日：令和元年10月25日(金)～26日(土)

福利厚生委員長 金森 保則

今年度の街歩きは、令和元年10月25日(金)～10月26日(土)にかけて飛騨高山方面へ総勢28名で出かけました。上野会長を筆頭に、大勢の会員さんや会員企業の社員さん・ご夫婦・賛助会員や稲田理事におかれては可愛いお子さんを連れてご参加いただきました。

朝8:00 京都駅バスターミナルを出発しました。まずは、郡上八幡へ向けてバスは走ります。この日はあいにくの雨でしたが、車内には楽しい話声があふれていました。

途中、金森清正理事が作成していただきました『白川郷合掌造り集落』を元に、まずは、昼食場所であります郡上八幡について「大火が作った町 郡上八幡」を説明してくださいました。昼食は郡上八幡城の麓にありますホテルでいただきました。昼食後の自由時間は、各自、郡上八幡を散策しました。私は雨の中でしたが、またとない機会だと思い、郡上八幡城へ登ることとしました。数名の方と天守閣を目指しましたが、結構キツイ登り坂が印象に残っています。

本日の次の目的地は白川郷です。車中では、ゲームなどを楽しみながらバスは白川郷へと進んで行きました。ここでも、金森清正理事にご説明いただきました。「白川郷 五箇山の合掌造り集落」です。資料もとても分かりやすくまとめてくださり、とても勉強になりました。ありがとうございました。

た。そうこうしているうちに、バスは白川郷へと到着しました。まだ雨の中でしたが、合掌造り集落を皆さんで散策しました。ここでの印象は、合掌造り集落の見事さもさることながら、外国人観光客の多さにビックリしました。

飛騨高山のホテルに着き、温泉へ入り、夕食となりました。飛騨牛会席でしたので、楽しみにしていたのですが、少し残念でした。

26日は前日の雨が嘘のように、良い天気になりました。朝食後、お昼の出発時間までの間、飛騨高山の古い町並み・陣屋・朝市などを散策しました。これぞ街歩きといえる条件に恵まれ、帰りに足の疲れを覚えたのは私だけでしょうか。楽しい時間は早いもので、帰りの車中はカラオケが鳴り続け、あっという間に京都駅に着きました。

ご参加くださった皆様、本当にありがとうございました。次年度も楽しい企画をいたしますので、よろしくお祈いします。今回、参加出来なかった皆様も、次年度はよろしくお祈いします。



令和元年度建築士事務所協会キャンペーン

開催日：令和元年11月3日(日祝)

キャンペーン委員会 副委員長 橋本 勇樹

令和となって初めてのキャンペーン事業は、京都市立植物園内にて行われた府民交流フェスタに参画し、木造耐震委員会、指導委員会と協力しブースを出展しました。

京都府建築士事務所協会をアピールする為に建築士無料相談会と称し、楽しく学べる耐震コーナー、無料建築相談会をその場で行い、本会PRパンフレット入りグッズを500部用意しました。そんなに配れるのか?!といった意見もあった中、本会公認(?) 宴会部長でもある木村委員を筆頭に各々が持ち前のトークを駆使し、お昼過ぎには完配することができました!!

また、小学生以下を対象に、自作できる家型のお道具箱「おうちバコ」を用意し、それを着色したり、シールを貼ったりしてアレンジしてもらう「おうちバココンテスト」を開催。当初予定していたブースを拡大しなければならない位たくさんの方にコンテストに参加してもらい、用意していたおうちバコ100個がなくなってからも参加希望者が出るほど、大盛況で終了しました。

そしてブースに来ていただいた方から、営業される心配がないから安心して相談できる、また親子で参加できるイベントしてほしいといった声をたくさんいただき、開催してよかったなと思いました。

こういったイベントができたのも会長、名誉会長をはじめ、キャンペーン委員だけでなく、木造耐震委員、指導委員、応援に来ていただいた皆様のおかげです。さらに、快くご協力いただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

また、パンフレットやポスター作りをはじめ、委員会を取り纏めていただき、当日はおうちバコ作りの材料が足りなくなり、色々と走り回っていただいた木下委員長本当にありがとうございました。

今後も、会員の皆様にもご理解の上、ご協力いただき、協会を盛り立てていけたらと思っています。

最後に、キャンペーン委員各位におかれましては、企画段階から時間と労力を費やしていただき、共に本年のキャンペーンを成し遂げられたことを心より感謝申し上げます。



城南支部だより

国宝光明寺二王門とゲンゼ博物館

城南支部 足立 由紀夫

11月9日、曇天ではありましたが初秋の爽やかな気候の中、令和元年度城南支部見学研修会として京都府北部（亀岡以北）唯一の国宝建造物である光明寺仁王門とゲンゼ博物館に行ってきました。今回は研修委員会の皆さんと合同開催となりました。また、北部支部内との事で村上支部長に一方ならぬ御尽力御配慮をいただき大変お世話になり有難うございました。



国宝光明寺二王門

聖徳太子の創建と伝えられる光明寺は君尾山の中腹に在ります。鎌倉時代の宝治2年（1248）建立の二王門は、ベンガラ塗りの色彩が味わい深い三間一戸の二重門で、入母屋造り、とち葺きで創建当初の姿をよく留めています。

君尾山略記には、光明寺は飛鳥時代の推古天皇7年（599）聖徳太子によって開かれたと伝えられています。最盛期には山内に72もの僧坊が存在していたと言いますが、戦国時代の天正7年（1579）赤井氏によって攻め込まれ、その主要堂宇をことごとく失ってしまいます。その後、領主の上林氏により再建されたものの、今度は明智光秀の手によって、元龜3年（1572）と天正7年（1579）の二度に渡り焼き討ちに遭い、再び灰燼に帰しました。参道にぽつんと取り残された二王門が鎌倉時代にまで遡る古いものであると分かったのは、昭和27年に行われた解体修理の時



でした。桁行三間のうち開口部以外の両脇間には床が張られ、それぞれに仁王像が安置されています。

ゲンゼ

現在のゲンゼ株式会社の前身、郡是製糸は明治29年に綾部町で設立され、日本を代表する繊維メーカーに発展します。ゲンゼ創業の地である綾部には創設時から昭和に至る各時代の様々な建物が建てられ、現存する主要な建物は日本の近代製糸業の歴史を刻む貴重な産業遺産となっています。



山陰本線綾部駅19時10分発「はしだて8号」に乗って帰路につきましたが、車両がリニューアルされたデザイン列車「丹後の海」でした。和テイストのデザインで、客室天井と壁は白樺、床はナラ、座席は楓という風情で、思いがけず贅沢なひと時を過ごさせていただきました。



萬福寺レポート

開催日：令和元年11月15日(金)

城南支部 金森 清正

令和元年11月15日午後 研修委員会の企画で宇治萬福寺の法堂他2棟の半解体修理の現場を見学させていただきました。府文化財保護課の担当者より萬福寺の概要と惣門・三門・天王殿の解説をいただき、鐘樓・伽藍堂・法堂の順に現場を見学しました。当該諸堂の概要他詳細については、紙面の都合で省略しますが興味あれば「京都 保存修理の現場から2019」をWebで確認してください。



境内の概配置図(黄色修理建物)



総門、屋根大棟にある魔除けの水神・聖獣のマカラと降棟(くだりむね)にある火神のカーラ(鬼瓦)

1. 鐘樓は、屋根の荷重と腐朽により正面側の軒先が大きく垂下していたようで、半解体修理に伴い、屋根全体の軽量化を図られたようで、見学時は、小屋組みの修理が終わり、垂木が間配られた状態で、土居葺きが未施工で小屋組みの様子が良くわかり、方形の平面に梁が放射状に組み込まれていました。

重要文化財(建築物)

種別：近世以前／寺院
時代・年代：江戸中期 寛文8年(西暦1668)
構造及び形式：桁行一間、梁間一間、一重もこし付、入母屋造、本瓦葺
国指定文化財データベースより



小屋組み改修時の様子



見学時の様子 軒付が付き垂木が施工されている

2. 伽藍堂は、屋根を支持する部材が破損し、特に背面側の軒先が大きく垂下していたようで、半解体修理が実施されていて枯木を全更新、土壁も自重で下がり膨らんでいる箇所が見られ、一部を残し撤去、当初材の貫と小舞竹下地のみでした。貫材による補強を考えておられるようでした。

重要文化財(建築物)

種別：近世以前／寺院
時代・年代：江戸中期 寛文9年(西暦1669)
構造及び形式：桁行三間、梁間三間、一重、入母屋造、本瓦葺
国指定文化財データベースより



枯木5×4=20本と隅木が更新された



見学時には、土居葺きが完了していました

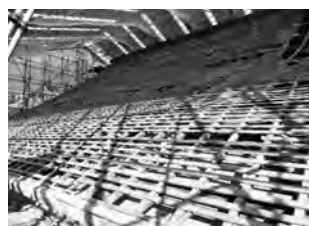
○法堂は、棧瓦葺屋根が耐用年限に達していて、所々に破損が見られていたようで、屋根葺替及び部分修理として工事を実施されていて、両堂の屋根に葺かれた瓦を降ろし、屋根の下地である野地を補修、建物に残る痕跡や、寺蔵の古文書及び絵図等資料の調査を行った結果、今までの棧瓦葺屋根が明治期以降の姿であることが明らかとなり、建物が持つ文化財的価値をより高めるべく、建立時の姿である柿葺屋根に復原されるそうです。柿板は、厚3.2mm 長さ360程度 葺足36mmで少し厚めの柿板を用いるそうです。

重要文化財(建築物)

種別：近世以前／寺院
時代・年代：江戸中期 寛文2(西暦1662)
構造及び形式：桁行五間、梁間六間、一重、入母屋造、棧瓦葺
国指定文化財データベースより



瓦降しの様子



見学時の様子 野地の棧より少し厚めの7分程度の野地を木骨の間に施工 柿葺きの下地とされるそうです



小屋裏に落ちていた旧柿板。明治期に棧瓦に改修されている



伽藍ならびに寺領絵図(部分) 1693年以前の景観とされ、法堂は柿葺きで描かれている

令和元年度忘年会

開催日：令和元年12月6日(金)

福利厚生委員長 金森 保則

元号も令和になり、そろそろ慣れてきたように思います。
令和最初の忘年会は、12月6日(金)リーガロイヤルホテル京都に於いて、総勢92名の会員・賛助会員等のみなさんにご列席いただき、盛大に行われました。

定刻となり、開会宣言をさせていただき、上野 浩也会長に開会のご挨拶をして頂きました。いつものことながら、会長のみなさんを引き付ける軽快なご挨拶には感服してまいります。その後は、八木 裕有相談役の乾杯のご発声により開宴となりました。

食事を楽しんでいただきながら、ゲームの時間となりました。会長賞・委員長賞は名刺を引き当てた方に幸運がめぐり、副会長・専務理事によるじゃんけんゲームはテーブル対抗で行われました。このテーブル対抗は、テーブル代表に幸運が来るとそのテーブル全員が幸運に恵まれ、大変盛り上がったと思います。

賛助会員さんによるゲームでは、毎年のことながら、賛

助会員さんにご協賛の商品をご用意いただきまして誠にありがとうございます。各賛助会員さんによるPRタイムの後、名刺引き当てゲームを行いました。大変実用的な商品や最新の商品など様々な商品がありました。聞くところによると、毎年、幸運に恵まれる方がいらっしゃるようです。PRタイムの時間が少し短かったというお声もいただきましたので、次回以降の課題とさせていただきます。

楽しい時間は早いもので、あっという間に中締めとなりました。内田 康博副会長にご挨拶して頂きました。会場のみなさん全員で一本締めを行い、閉会となりました。

最後になりましたが、企画運営にワンチームとなりご協力いただきました福利厚生委員会のみなさん・司会者の野浪ゆき様・事務局のみなさん、本当にありがとうございました。

来年もより良い京都府建築士事務所協会になりますように…



〈協賛品ご提供の賛助会員様〉

(株) デューデリバンス様 ・ (株) 京都確認検査機構様
(株) 建築資料研究社 日建学院 京都校様 ・ (株) I-PEC 様
ナイス (株) 資材事業本部 関西ブロック 京都営業所様
TOTO株式会社 関西支社 京都支店様
三和シャッター工業 (株) 様 ・ (株) たけびし様 ・ (株) LIXIL 様
(株) 総合資格 総合資格学院 京都校様
(有) ハウスステージ様 ・ (株) イワイ様
ケイミュー (株) 京滋営業所様
上野会長 ・ リーガロイヤルホテル京都様

(順不同)

景品をご提供くださった上記賛助会員様の皆さまに重ねて御礼申し上げます。



改正建築物省エネ法説明会及び 住宅省エネ技術講習会

京都府すまいづくり協議会 岩村 和男

令和元年5月10日に「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律の一部を改正する法律(改正建築物省エネ法)」が国会において成立し、同年5月17日に公布されました。

京都府建築士事務所協会では、京都府すまいづくり協議会を立ち上げ、昨年まで5か年に渡り住宅省エネ技術講習会を開催してまいりました。

住宅省エネ施工技術者講習会に於いては、住宅の施工に関して断熱施工のポイント・注意点について講習し、住宅省エネ設計講習に於いては、詳細計算ルート・仕様ルート及び簡易計算ルートについて講習を行いました。

新たに昨年末、簡易計算シートによる方法も登場し公開されています。

既にご承知の事と思いますが、現行制度では非住宅建築物300㎡以上2,000㎡未満については届け出義務、2,000㎡以上については適合義務だったものが300㎡以上の非住宅建物は全て適合義務となり、300㎡未満の非住宅建物は説明義務が課せられます。また、住宅建築でも300㎡以上の建物は届出義務、300㎡未満の建物についても説明義務が課せられます。(2021年4月施行予定)

それと新たに、住宅TR制度も対象を拡大されて現状の建売住宅に加え、注文住宅と賃貸アパートが対象になりました。

昨年までの省エネ講習会にご参加頂いた方々、またスケジュールの都合上ご参加頂けなかった方々も今一度内容をご確認いただき、同改正建築省エネ法に備えて頂ければと思います。

国土交通省 改正建築物省エネ法 公開ページ

<http://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/shoenehou.html>



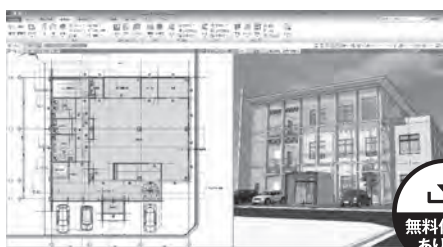
上記の公開ホームページに改正法のポイント等、詳しく掲載されています。



日本の建築は、日本のCADがつくる。

日本の設計に最適化された秀逸な建築設計システムが業務効率化と受注拡大を支援します。

一般建築設計向け(店舗・ビル)



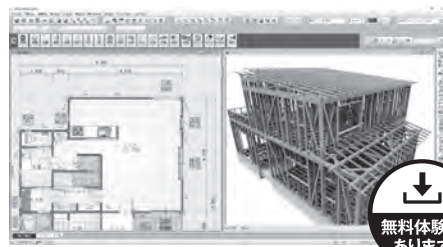
企画・設計・施工からFM・維持管理まで
BIM設計のトータルマネジメントを実現!

GLOOBE

Japanese Building Information Modeling CAD System

BIM建築設計システム グローブ

戸建住宅設計向け(新築・リフォーム)



プランニングからプレゼン・申請まで一気通貫!
ZEH・省エネ・耐震・積算もトータルサポート!

ARCHITREND ZERO

3D建築CADシステム アーキトレンド ZERO



まるでその場に立っているかのような没入感!

ARCHITREND ZEROやGLOOBEで設計したプランの中を実際の目線で歩き、バーチャル空間を細部までリアルに体感。わかりやすく完成イメージを提案できます。

ARCHITREND **VR** GLOOBE **VR**

バーチャル空間体感システム

福井コンピュータアーキテクト株式会社

■関西営業所 / 大阪市城東区永田4-15-6 深江橋MHビル2F
■京都オフィス ■神戸オフィス

■本社 / 福井県坂井市丸岡町磯部福庄5-6 <https://archi.fukuicompu.co.jp>

●お問合せ
福井コンピュータグループ総合案内

0570-039-291

●体験版ダウンロード・資料請求・製品詳細は [福井コンピュータアーキテクト](#)

Face to Face—書けば伝わる、共感する。

Nichigaku

学校教育現場に不可欠な各種大型黒板や掲示板、I C T関連商品や木製造作家具、オフィスの会議室、商談ルームなどで広く活用されるホワイトボードや電子黒板など、人と人の情報共有を高める様々なコミュニケーションツールを一人でも多くのお客様に安心・安全にご提供できる様、私たち日学は品質向上に日々取り組んでいます。



※ 2019年10月28日 国土交通大臣より不燃認定されました。

超薄型壁面ホワイトボード

設置イメージ (W9000×H2400mm)



Type A インテリアに溶け込むホワイトアルマイト処理



<SMW表面材>

アルミホーローホワイトボード



ミルクホワイト スクリーン兼用
※お好みの色に選べます。

横目調アルミホーローホワイトボード



石目調柄 木目調柄

アルミホーロー黒板 (チョークボードです。)

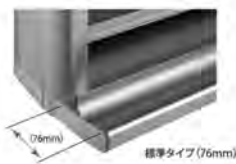


グリーン グレイ
※スクリーン兼用グレイもご用意です。

上下式黒板&ホワイトボード (ブレーキ機構付)



たっぷり書ける上下式ボードにブレーキ機構が付いて、安全性がアップ



JIS S6007 黒板



エコアクション 21
認証・登録番号 0002586
本社ビル 静岡工場 開発部



ISO9001 認証
JQA-QM5577

日学株式会社 大阪支店

大阪支店 ショールーム 開設いたしました。

<http://www.nichigaku.co.jp>

【お問い合わせ先】

〒533 - 0014

大阪市東淀川区豊新 1 丁目 21-12

TEL 06-6329-0546 FAX 06-6327-1417

E-mail : tomaru.h@nichigaku.co.jp

洛東支部だより

洛東支部長 中井 洋一

新年が明けて令和も2年となり、新たな年がスタートしました。皆さまも新たな気持ちで新年をお迎えになられたことと存じます。

支部の活動報告

現在の洛東支部会員は33名となっております。

令和元年6月20日 支部三役・各支部委員が新メンバーになり、第1回支部会を開催しました。+懇親会(山科区内飲食店)

9月26日 第2回支部会 支部会で研修会やスキルアップ情報が、より多くの方々に届く方法をどうすれば良いか議論を行う。+懇親会

11月27日 第3回支部会 京都市東部文化会館にて勉強会を行いました。当支部会員の講師による、“営業歴40年のレジェントによる営業のマインド”など。



今後の活動について

支部会にたくさんの会員さまに参加していただくために開催場所や内容をあれこれと工夫し、また他支部会さまと合同で行うなど、枠にとらわれない、活発な企画をしていきたいと思っております。

令和2年度の支部会も、より有意義な会になりますよう、皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

桃山支部だより

桃山支部 浅田 拓生

伏見ふれあいプラザ2019：令和元年9月1日(日)開催

今年で2回目の参加です。

用意していたパンフレットを全て手渡すことができ、多くの人に建築士事務所協会の活動を紹介できたかと思えます。

近年は、各地で災害が多発しています。耐震に対しても関心があり、これからも普及活動を続けていきたいと思っています。



支部会



伏見ふれあいプラザ2019

桃山支部会：令和元年9月28日(土)開催

各委員の報告、研修委員高木さんが10月～3月のスケジュール、法令委員渡邊さんが法改正に伴う勉強会等、広報委員会岩村さんがすじかい等、総務財務委員吉田さんが指導委員会6人で回している人手不足の問題、福利厚生委員國府さんが岐阜の街歩き及び忘年会の件、キャンペーン委員内田さん11月3日の京都府のイベントの件、女性部吉井さんが本日開催、10月3日青年部総会、11月に堺支部と交流会、11月16日ソフトボール大会、伏見ふれあいプラザ等、皆で話し合った。

今回は桃山支部顧問の橋村市議会議員にも参加していただき、お話をしてもらいました。

丹後支部だより

丹後支部長 岡田 昌基

今回は、京丹後市久美浜町の酒屋「玉川」を紹介し
ます。

京丹後市久美浜町で、天保13年(西暦1842年)の
創業以来175年にわたり、『玉川』の酒造りを継承して
おります。

現在はイギリス人のフィリップ・ハーパーが杜氏を務め
ており、豊かな発想力と挑戦的な酒造りで玉川の新たなフ
ァンをつくりだしています

特に、当蔵に住みつく微生物を最大限に活かした酵母
無添加の生酏・山廃酏で造る『自然仕込』は、玉川の根
幹・個性ともいえるお酒を醸しています。

ぜひ、丹後に来られた時には玉川とカニを一緒にどうぞ



外観



店舗



造り風景

洛北支部だより

洛北支部長 松本 隆宏

日本福音ルーテル賀茂川教会

京都市営地下鉄北大路駅の北側1番出口を出て、東
へ賀茂川に向かい直ぐのところにあるある教会です。ヴォー
リズ的设计により1954年に建てられました。外観は朱色
の瓦とベージュ色の壁が温かみのある印象です。内部の
会堂はノアの箱舟をイメージして設計されたと言われていま
す。2005年に記念事業として改修工事が行われました。
南側には「社会福祉法人京都ルーテル会のぞみ保育園」
を併設しています。2011年に新園舎(RC造3階建)が完
成しています。教会の外観イメージを取り入れ、教会との一
体感があります。また「京都を彩る建物や庭園」に登録さ
れています。(選定番号:第8-026号)



20'S ~AKEOME KOTOYORO~

洛西支部 野間 洋平

新年あけました! 2020年です! 20年代突入! 20年代初っ端のイベントといえば東京オリンピック・パラリンピック。おもえばエンブレム盗作疑惑や総工費問題、賄賂疑惑、ボランティア問題に競技会場問題、不参加国問題とさまざまな問題がありましたがいよいよ今年です。そして私個人として注目しているのが『イノベーターな大会』というところである。イノベーターとは革新的と訳されるが今大会の革新というロボット企画である。その中でもAIと20年春頃に運用開始予定の5Gに注目したい。

AIは特化型と汎用型に分けることができる。特化型はざっくり例えるなら将棋や囲碁をするロボットであったり無人レジスターなども特化型と言えるだろう。一方汎用型はペッパーなどの会話や感情を読むロボットを指す。特化型は様々な経済や産業に尽力しているが、汎用型は最近すこしづつ活躍し始めているところだ。良い例がグーグルアシストである。汎用型の主な機能としては人との受答え、検索、実行と言える。

さて5Gと言うとまだ多くの方が『?』となっているのではなからうか。第5世代移動通信システム(5G)の前に1Gから少しおさらいをしてみる。

1G…1980年代のアナログ通信システム。主に音声通信を行うシステムである。わかりやすく言うとショルダーホンだ。

2G…1990年代のデジタル通信システム。音声+メール。ムーバから始まり液晶画面搭載まで。

3G…2000年代の高速通信システム。FOMAと言えばわかりやすいだろうか。Web接続や画像・動画転送ができるようになった。写メールが生まれたのが3Gである。3Gの間に多くの機能が生まれた。

4G…2010年代の超高速通信システム。今現在使われているものでいわゆるスマホ世代である。携帯電話に留まらず、家電や産業・商業・交通にも運用されている。

このように携帯できる電話から始まりメール、web、画像・動画、家電、職と今や生活に欠かせないものとなった通信システム。40年で生活環境は大きく変わったが今年運用予定の5Gが始まるとさらに劇的な変化・革命が訪れるかもしれない。というのも5Gで最も注目されているのが低遅延。つまりタイムラグが小さくなるということだ。低遅延によって遠隔操作がon/offから駆動操作が可能になるということである。これにより建設機器や運行車両、医療など様々なことが現場に居ず遠隔操作できるのである。しかし私が思うに5Gの起こせる革命はこれに留まらないと思う。というのはAIの存在だ。

5Gの多数端末接続と低遅延をAIが活用するとどうなるか。これは仮説であり実行できるかわからないが考えてみる。まず汎用型AI、例えばグーグルアシストにこう言う。『ハイ、グーグル。京都府建築士事務所協会に行きたい』と。すると『了解しました。5分後に迎えが来ます』と言い、自動運転特化型AIが送迎してくれる。帰る際には『ハイ、グーグル。帰るから迎えをお願い。あとお風呂とご飯の準備もよろしく』そう言うとお迎えが来て家に帰ると湯沸かし特化型AIがお風呂を準備し、自動運転特化型AIが工場調理特化型AIが作った料理を配達してくる。建築業界では意匠AIが設計を構造AIが計算を、設備AIが設備設計を。自動運転AIが資材を運び監督AIが職人AIを監督し職人AIが建築していく。こんなSF映画のようなことが実際にできる可能性がある。AIがAIを操作し、新たなシステムをAIが生み出す。そしてAIは人を超える。レイ・カーツワイル氏は00's中盤に2029年にCPは人知を超えると予測した。20'sの終わり、AIは人知を超えるのか。2045年、AIは人の想像力を超えるのか。いや、早まるかもしれない。ターミネーターは2029年からやってきたのだから。

本日のおさらい

思い込みを
正すのも
設計者の仕事

あまいい良でも
軽い建盤なら
杭工事が必要
ないことも
あるから、
地盤調査報告
しをない判断
ね！



えだまめ

前回の木村智さんからご紹介頂いたのは、(株)長岡開発の橋本勇樹さん(乙訓支部)です。当協会の活動に積極的に取り組んでおられます最年少理事の橋本さんから「僕の話なんか面白くないですよ」とおっしゃりながら伺ったお話は、素敵な「深い話」でした。

事務所協会に約5年前に父に代わって出席させて頂くようになってから、諸先輩から学ばせて頂く事も多く、いくつかの委員会(広報 福利厚生 キャンペーン)にも参加させて頂いております。

お父様と一緒に仕事をされているのですか。

…そうです。父の会社で、仕入れた土地に父が設計した住宅を施工し販売する仕事をしております。

施工現場では人手不足でお困りになる事はないですか。

…お蔭様で父と信頼関係のある大工さんに絶えずサポートして頂いていて、最近よく人手不足のお話を聞きながら、すごく有難いと感謝しています。

お父様が創業者でいらっしゃるのですか。

…創業は父ですが、元々は祖父が鍛冶屋をしていたり、叔父や従兄弟がその仕事を継いでいたり、父も僕も育った環境としては建築に深く関わっていました。

では、設計や建築の世界に進むべくして育てられたのですか。

…そこはだいぶ違うんです。僕自身は少し思うところがあって兵庫の大学の栄養学部を卒業しました。

よろしければその頃の思いをお聞かせ頂けますか。

…僕が受験を控えていた頃、父はリーマンショックなどの影響

で自分の仕事を継がせようとはしなかったのですが、継がないとしても何か他の面で父を支えたいと思い、自分なりに考えついたのが栄養士になって一人暮らしをしていた父の食事の世話をしようと考えたんです。でも大学を卒業する頃には徐々に業績もよくなってきて、父の会社で働きはじめると建築について何も知らないことを痛感して、改めて専門学校に入り年の差のある同級生の中で建築を学びました。

今改めてお父様と一緒に仕事をされていることをどう感じておられますか。

…言葉数は少ないけど父からは教えられることが多く、目標としています。そんな父のそばで働く道を選んで本当に良かったと思っています。そして自分も結婚し子供も授かり、もうすぐ受験資格も得るので早く一級建築士を取りたいと考えています。

不安定な仕事を継がせて子供に苦勞させたくないというお父様に、でも何か親孝行したいと思われた橋本さんのお話は、最年少ながら自ら理事に就かれ積極的に委員会に参加されている橋本さんらしく、すごく清々しいものでした。一度お父様にもお目にかかりたいです。ありがとうございました。



東華菜館

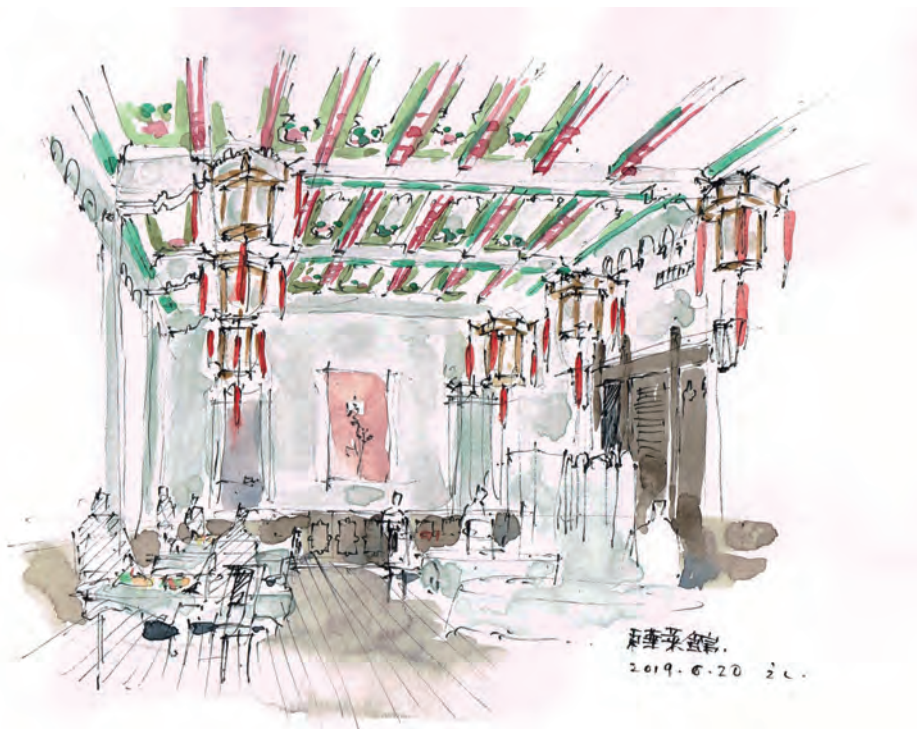
4階の一般客席は天井が高くて眺めもよい。この建物は見どころが多くて目移りするが、この部屋はため息が出るほど美しく見飽きない。中華風の吊り灯籠型照明は戦後中華

料理店に改装された際のものだが、スパニッシュ風の着彩天井とよく馴染んでいる。

さて、この店の名物である薄焼き玉子の春巻きもこの部屋でいただくと格別にうまい気がする。白布のテーブルの白い皿に載せられたきつね色の春巻きとこのスペインの図書館のような極彩色のインテリアとがよく響きあっている。どこがどう響くのかも一度行って確かめてみたい。

(絵と文、円満字洋介)

※ 1926年竣工、ヴォーリス設計 スケッチブックA4、グラフィックペン0.5、固形透明水彩、2019.06.20 スケッチ



編 集 後 記

○令和2年。今年は東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。チケットは購入していませんが、テレビ等で観戦したいと楽しみにしています。

スポーツにはずいぶんご無沙汰していますが、今年中学生になる息子が小学校2年から少年野球をしていましたので、保護者として出来るだけ週末や祝日の練習や試合のお手伝いをしていました。当初は少年野球独特の大人が子供に厳しい言葉を投げかけることに抵抗がありましたが、いざ入り込んでみると監督やコーチの気持ちがわかるようになり、わたし自身も厳しい言葉を使うことができました。普段の練習に気を抜いたプレーをしていると怪我をすることにもなりますし、一人のプレーや態度がチーム全体に悪影響を与えることをよく理解できていないので、「そうなるな!」と思うようになりました。かといって中には行き過ぎた言葉をしばしば使ってしまう大人がいるのも確かですが。

少年野球の試合は 勝敗が「流れ」に大きく左右される事が

多いのですが、この「流れ」は ちょっとしたプレーや声かけで移動します。

子供たちは喜んだり、緊張したり、泣いたりしながらプレーし、その姿に感動し、喜んだり、苛立ったり、と野球の魅力にすっかりハマってしまいました。

さて野球は非常に周りのサポートが必要になるスポーツなので、保護者として少年野球を手伝っていて感じたのですが、グラウンド内はまるで会社組織のようだという事でした。監督が社長、コーチが取締役、保護者が従業員といったところでしょうか？

監督が方針を決め、監督・コーチ陣が練習や指導をし、保護者はそのサポートです。

野球は何をするにも準備が多いので全員がスムーズに時間を有効に使えるよう、状況を見て自分ができるところを探して積極的に行動する。

消極的な態度だと何もすることがない。

子供たちは大人のこのような姿を見て、また自分たちも体験し、きっと将来に役立つだろうと感じています。

(堀井 里見)

○発行 令和2年1月1日

○発行所 一般社団法人 京都府建築士事務所協会
〒602-8031

京都市上京区釜座通樫木町上る東裏辻町417 大和ビル内
TEL 075-222-1717 FAX 075-222-1700

○編集人 編集長 岩村和男

編集委員 橋本勇樹、木村 智、八木裕有、
酒井 徹、石井克憲、田中祐介、
堀井里見、足立由紀夫、長谷川孝

○印刷所 株式会社ティ・プラス